

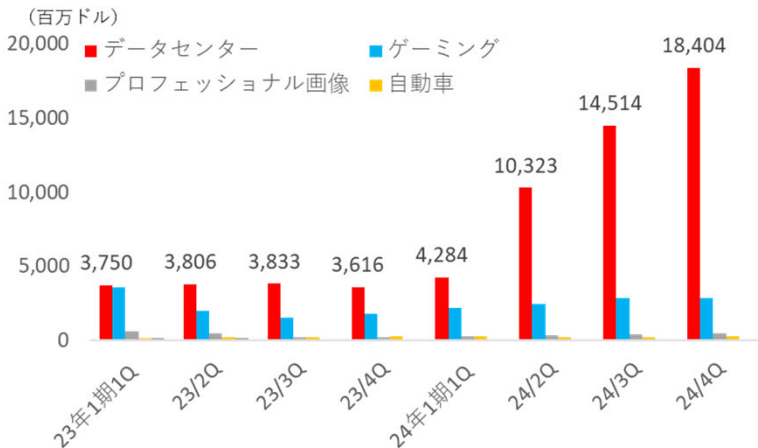


NVIDIA決算を受けた米株の見立ては？

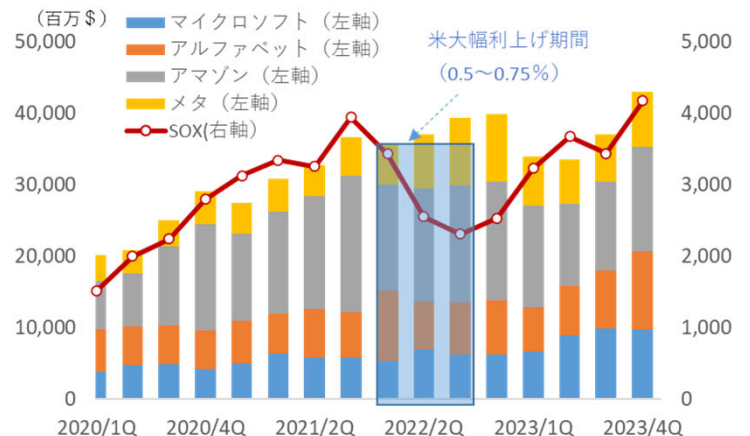
◆ NVIDIA決算は予想を上回った⇒「今年はAI普及元年」との見立てを追認

- NVIDIAの2024年1月期4Q（11月～1月）決算は実績・ガイダンスとも予想を上振れ
- セクター別売上高はデータセンターが大幅増収⇒生成AIを動かすデータセンターサーバーでのAI半導体需要増を反映（図表①）
- IT大手企業の設備投資も増勢維持、各社のAI投資の強さを反映、これに歩調を合わせてSOXは上昇基調維持（図表②）
- 昨年12月にインテルはWindowsパソコンに搭載するAI機能強化半導体「コア・ウルトラ」を投入（図表③）
- つまり、今年がAIの「民間普及元年」と位置付けている（図表③）
- AIイノベーションはWindows95発売に比肩（それ以上？）と繰り返し述べてきた
- 当時のS&P500はWindows95発売を起爆剤に約5年でおおよそ3倍に、今局面の株価もこれをトレースとの見立て（図表③）

【図表1】NVIDIAのセクター別売上高 データセンターAI半導体需要増を示唆



【図表2】大手IT企業の設備投資動向とSOX



【図表3】AI相場はwindows95発売後の相場をトレースか？



(図表1～3) Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



◆マグニフィセント7（M7）の株価は割高なのか？

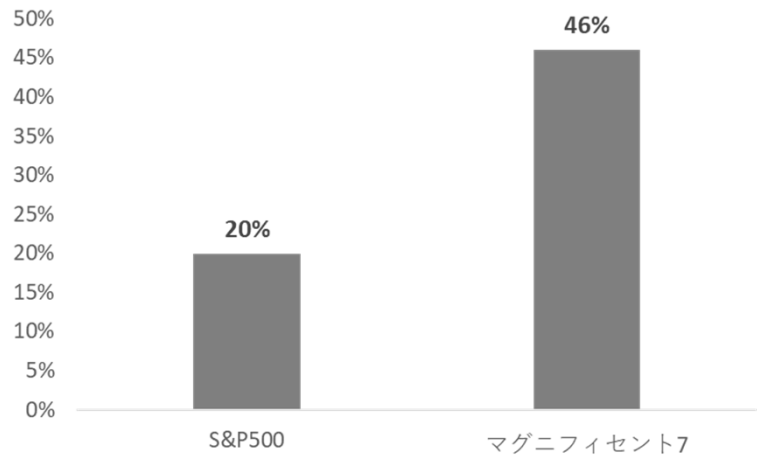
- 図表④はM7の直近のPERと過去10年の平均値を比較したもののだが、危惧するほど割高とは言い切れないのでは？（図表④）
- NVIDIAなどは過去10年の平均PERが35倍、直近は31倍程度だ。
- M7はバブルとの声もあるが、そうとは思えない
- 例えば、ITバブル崩壊前夜1999年末の時価総額1位：マイクロソフトの現在のPERは33倍で1999年65倍の約半分
- 現在のマイクロソフトのROEは38%、1999年当時は17%、現在の資本効率の高さが際立つ
- M7の平均ROEは46%、S&P500採用企業平均の20%台を大きく上回る（図表⑤）
- 資本効率の高さ・稼ぐ力の高さからするとM7の株価水準は正当化すらできるのでは？

【図表4】マグニフィセント7の予想PER（株価収益率）

	直近	過去10年平均	直近－過去10年値※
アルファベット	21	23	-2
メタ	23	26	-3
アップル	28	19	9
NVIDIA	31	35	-4
マイクロソフト	33	24	9
アマゾン	40	120	-80
テスラ	59	110	-51
S&P500	21	18	3

※マイナス(-)値は直近PERが過去10年比で割安を示唆

【図表2】マグニフィセント7の平均ROEはS&P500採用企業を大きく上回る



(図表4、5) Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>